

# 公益社団法人日本PTA全国協議会 におけるデジタル関連の取組について

令和2年12月21日(月)



1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介
2. PTAにおける取り組みについて
  - ①子どもとメディアに関する意識調査について
  - ②(事例紹介)日本PTA関東ブロック研究大会
3. まとめ



# 1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介



# 1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

公益社団法人日本PTA全国協議会  
(以下、日本PTA)は、64地方協議会  
(47都道府県+17政令指定都市)で  
構成されており、全国約26,000校、  
約800万人の会員が所属する「**日本  
最大の社会教育関係団体**」です。



# 1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

## 【綱領】

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、以て社会の発展に寄与する。



# 1. (公社)日本PTA全国協議会のご紹介

①全国大会事業

…全国研究大会

②調査研究事業

…全国規模の意識調査等

③表彰事業

…優良PTA、広報紙、三行詩等

④広報事業

…日P新聞、WEBページ等

⑤国際交流・研修事業

…中学生対象の国内研修等

⑥教育支援助成事業

…被災地の子どもへの支援等

⑦協賛事業

…優良商品、映画の推薦等

⑧関係機関に対する要望等

…関係府省庁への要望等

⑨関係団体等との連携・協力

…高P連や全附連との連携等



## 2.PTAにおける取り組みについて



# ①子どもとメディアに関する意識調査 について





# ①子どもとメディアに関する意識調査について

本意識調査は、平成14年度から平成17年度まで「テレビ・メディア・インターネット等社会環境についての意識調査」として実施し、平成18年度からは子どもを取り巻く社会環境の変化に対応すべく「**子どもとメディアに関する意識調査**」として、今年度を含めて**計16回**実施しております。



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

調査対象は、全国の**小学校5年生約2,500人、中学校2年生約2,500人、その保護者約5,000人**であり、調査項目は以下の通りです。

1:テレビ

2:ゲーム

3:スマートフォンや携帯電話

4:スマートフォンや携帯電話、パソコン(タブレット端末を含む)  
によるインターネット利用

5:休校中の「自宅での学び」(**新型コロナウイルス感染症拡大による  
休校措置における令和2年度特別設問**)



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

意識調査は、子どもや保護者を取り巻く社会環境や社会情勢の**変化に対応した設問と普遍的な設問**を併せ、その時代の子どもと保護者の意識と時代を超えた縦断的な意識の違いをとらえています。

情報・通信技術のますますの発展、一層進むグローバル化と少子高齢化、さらには変貌し続ける社会の中で生きる子どもたちのコミュニケーション及び学びと遊びの変化について考察し、**家庭教育の実践のために有用な資料・情報となる報告書**にまとめております。

# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【通話以外の機能】

◆小学5年生は「メール」が49.7%でダントツです。

◆中学2年生のベスト3は、「ネット検索、閲覧」が72.3%、「SNS」が70.8%、「ネット動画の視聴、投稿」が68.6%です。

→この機能の中に「いじめ」や「犯罪」に巻き込まれるなどの原因が隠れている可能性があります。

# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【スマートフォン・携帯電話で起こること】

### ◆小学5年生

「つい長時間、SNSやゲームに夢中になる」27.0%

「つい長電話してしまう」11.9%

### ◆中学2年生

「深夜でもSNS等のやりとりをする」31.8%

「実際には会ったことがないネット友達がいる」18.6%

「ネットを通じて同年代の異性と知り合ったことがある」10.2%

→**ネット依存傾向**の中学2年生は**半数**を超え、小学5年生では**3割弱**いることが分かりました。また、中学2年生では、**ネットを通じて、会ったことのない友達や異性との出会いの場**になっている点も課題です。



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【子どもが受けた被害・迷惑】

中学2年生の回答は392件あり、その中で何らかの被害を受けた人は149件(小学5年生は22件)でした。それらの中で「**チェーンメール・迷惑メール・未承諾広告**」が多くあり(38件)、次が「**知らない人からの連絡や、SNSでの友人登録**」(26件)、「**架空請求等での金銭の請求**」(25件)です。昨年度に比べて件数自体は減っていますが、見逃せないデータです。



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【ゲームに対しての支払い状況】

◆購入・課金サービスを利用しない

小学5年生・・・89.3% 小5保護者・・・95.5%

中学2年生・・・90.1% 中2保護者・・・93.0%

→保護者の知らないところで**購入や課金**を行っている可能性もあります。

**保護者の適切なチェックが必要です。**



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【家庭内ルールの現状】

### ◆ルールの認識があるか？

小学5年生・・・56.8% 小5保護者・・・70.0%

中学2年生・・・57.2% 中2保護者・・・76.8%

→**子どもと保護者との認識に大きな差**があることが  
解ります。言葉だけではなく、書面にてルール作りを  
啓発することが、安全を守ることにつながります。





# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【家庭内ルールの現状】

### ◆ルールの内容は？

小学5年生	使用方法やマナーについて(食事中は使わない)	75.3%
	使用について(個人情報や悪口は言わないなど)	73.2%
	使用料金の制限について(たくさん使わないこと)	70.2%
中学2年生	使用方法やマナーについて(食事中は使わない)	74.9%
	使用料金の制限について(たくさん使わないこと)	65.0%
	使用内容について(個人情報や悪口は言わないなど)	64.7%



# ①子どもとメディアに関する意識調査について

## 【家庭内ルールの現状】

ルール作りは、ICT機器を持たせる保護者の責任であり、義務でもあります。

また、子どもに対しても自覚を促し、子ども自身にも義務が生じることを認識させることが大切です。

**ルール作りと実践、保護者のチェックは  
重要な家庭教育の一環です。**

# ①子どもとメディアに関する意識調査について

スマホ・ケータイ利用について  
正しく楽しく安全に利用するために  
わが家のルールを話し合いましょう！

## ルールの例

- 夜は何時までときめ、深夜は使わない。
- 自宅で使用場所をきめる。
- 充電器はリビングに置く。
- 友達を傷つけるような使い方をしない。
- 知らない人からのメールには返信しない。
- 変なメールがきたり困ったことがあれば、すぐに保護者に相談する。
- ルール違反があった場合は、携帯電話の使用を禁止する。

## わが家のスマホ・ケータイ誓約書

- 利用時間**
  - 1日( )時間まで
  - 夜( )時をすぎたら使用しない
  - 食事中・勉強中・入浴中には使用しない
- 利用内容**
  - フィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)を必ず利用し、はずさない
  - 有害サイトや違法サイトにアクセスしない
  - 個人情報や悪口を書き込まない
  - アプリをダウンロードするときは保護者の許可を得る
- 利用料金**
  - 利用明細でゲームアイテム・有料サイトなどを購入していないか確認する
  - 約束の金額を超えないようにして、おこづかいの範囲で利用する

### 4. わが家の特別ルール

上記の誓約を守らなかった場合は、スマホ・ケータイを返却する

年 月 日  
 子どものサイン \_\_\_\_\_ 保護者のサイン \_\_\_\_\_

「わが家のスマホ・ケータイ誓約書」は、家庭で保管しましょう。



## 青少年のインターネット利用に関するアピール

2014年5月23日

- 1 保護者は、子どものスマートフォン・携帯電話等の所持に関して、**責任**を持ちましょう。
- 2 保護者は、子どもが利用する様々なインターネット接続機器を**把握し、ペアレンタルコントロール**をおこないます。
- 3 保護者は、インターネット端末機器の所持に関わらない**情報モラル教育**や**情報活用能力の育成**をおこないます。
- 4 日本PTAは保護者の**ペアレンタルコントロール**や**情報リテラシー・モラル**についての**理解・共有**を促進します。
- 5 日本PTAは青少年が利用する**インターネット環境整備**に関し、あらゆる関係機関と**連携・協力**します。

公益社団法人 日本PTA全国協議会

# ①子どもとメディアに関する意識調査について

ネットに接続できるスマホ・ケータイ、ゲーム機、音楽プレーヤー。使い方をまちがえると、気づかぬうちに危険にまきこまれてしまうことを知っておこう！

**個人情報流出 画像流出**  
**高額請求 クリック詐欺 架空請求**  
**LINE やメール SNS でのトラブル**  
**有害サイト ゲーム依存 ネット依存**  
**悪口 いじめ 仲間はずれ**  
**昼夜逆転 不登校**

**持たせる責任 持つ自覚**

**ネットいじめ**  
SNSやブログ上で、フルネームを公開し中傷する等、個人に対する不適切な書き込みが多く見つかっています。それが更なるいじめやトラブル、事件へ発展するケースもあり、深刻な問題となっています。

**ネットトラブル**  
架空請求やワンクリック詐欺の被害以外にも、無料ゲームの中で「有料アイテム」を次々購入し、月10万円以上使ってしまったケースもあります。また、スマホで撮影した写真をネットにアップし、住所を特定される等のトラブルも増えています。

**ネット依存**  
ゲームやインターネット等を夜中まで使い続け、生活のリズムが昼夜逆転してしまい、不登校の原因となることもあります。ネット依存症の中高生は全国で5万8千人に及ぶと推計されています（平成24年厚生労働省の調査より）。

初めが肝心、スマホやケータイは保護者の持ち物です！

ゲーム機や音楽プレーヤーもインターネットにつながるよ。ペアレンタルコントロールで対策を！

保護者はインターネット端末機器の所持に関わらず、PTA研修等を利用して情報モラル教育の充実を！

困ったときは、必ず保護者に相談しましょう！

使い方をまちがえると被害を受けたり、加害者になったりします！

**用語解説**

**S N S**  
ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。LINEやFacebook等、主に友人・知人とのコミュニケーションを広げるためのサービス。

**ペアレンタルコントロール**  
携帯電話やPC等のインターネット端末機器において、子どもに悪影響を及ぼす可能性のあるサービスやコンテンツに対し、保護者が視聴・利用制限をかけること（具体的な方法は販売店等で尋ねるか、製品のホームページを参照してください）。

**インターネット端末機器**  
PC、携帯電話、ゲーム機、音楽プレーヤー、タブレット等、インターネットに接続することが可能な機器全般。

**情報リテラシー・モラル**  
情報機器を利用して、情報を主体的に選択・収集し、それを正しく活用・編集・発信するための倫理。

公益社団法人 日本PTA全国協議会ホームページにも掲載しています <http://nippon-pta.or.jp/>



## ②(事例紹介) 日本PTA関東ブロック研究大会



## ②日本PTA関東ブロック研究大会

令和2年11月14日(土)関東ブロック研究大会とちぎ大会の第2分科会(テーマ:情報)で、文部科学省のネットモラルキャラバン隊と共同で**講演の模様を録画し、ネット配信**をしました。文部科学省の行政説明から始まり、**ネット情報アナリスト尾花紀子先生**の講演、質疑応答を行いました。



# ②日本PTA関東ブロック研究大会

## ごあいさつ

日本PTA関東ブロック協議会の会員の皆様こんにちは。第52回 日本PTA関東ブロック研究大会 とちぎ大会 会長の金田 洋(栃木県PTA連合会 会長)と申します。通常であれば、このとちぎ大会は2,000人以上が集まり、2日間にわたり講演や研究発表が行われる予定でした。新型コロナウイルスの影響により、大会形式の変更を余儀なくせざるを得ない状況となりました。とちぎ大会実行委員会の中でも、大会の中止が妥当なのではないかという意見がありました。しかし、学校行事や子どもたちの様々な大会が中止されていく中、このような状況だからこそ私たちPTAにできることがあるのではないかと考え、安全を確保しつつ、会員皆様の研修の機会を確保することができる、動画配信で大会を行うこととなりました。

今年度より小学校で本格実施になりました新学習指導要領には「これからの社会が、どんなに変化して予測困難なものになっていくのか、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、それぞれに思い描く未来を實現してほしい」として、明るい未来を、共に創っていく」と規定に込められた思いが書かれています。新型コロナウイルスの影響で予測困難な状況の中、私たちPTAが力めることなく、子どもたちに前向きな姿勢を示すことは何より大切なのではないかと感じています。

動画配信での大会のため、講師の息づかいや会場の雰囲気などを直接に感じることはできませんが、より多くの人に研修の機会があるというのを考え、研究大会自体が身近に感じられるよう講演の内容や、サイトのデザインなども工夫しております。是非1人でも多くの会員の皆に、参加(視聴)いただきたいと願っております。

とちぎ大会 会長  
(栃木県PTA連合会 会長)  
金田 洋



## 大会名

第52回 日本PTA関東ブロック研究大会 とちぎ大会

## 大会趣旨

PTAは、保護者と教職員の架け橋であり、「社会教育」の担い手です。学校で行われるのが「学校教育」、家庭で行われるのが「家庭教育」と呼ばれますが、それと並び大切な教育が「社会教育」です。

子どもたちは、家庭・学校・地域を往たり来たりしながら生活し、学び、成長しています。家庭での生活が学校での学習等に活き、学校と一緒に学んだ人々の関わりが家庭に響き、家庭と学校をまたぎ響いています。

より良い保護者と教職員の架け橋として、自ら学ぶことや前向きに臨んでいくことが必要です。より良い大人であることが、子どもたちのより良い成長のために必要不可欠です。学び、そして楽しい活動を通してともに成長している組織がPTAであり、それが「社会教育」の1つに当たります。

PTAは、共に学び合う組織であり、各学校のPTAがより良い活動ができた時、自分自身も成長できるような世界、夢を掲げたいです。これまで培った経験や知識をもとに大会では、子育てを通して得た一歩一歩の山登りや大団円に似ながら、学校や地域との連携を高め、家庭の役割など様々な課題に対して積極的に向き合っていくことを目指します。

そして、とちぎを会場とする頃から輝く未来を生きる子どもたちのために、子どもと一緒に成長していく保護者・教職員として互いに学びを求め合っていくように。

## 大会スローガン

とちぎ発一期一会 ～ともに学ぼう 輝く未来の子どもたちのために 教育は家庭から～

## 主催

関東ブロックPTA協議会

## 主管

栃木県PTA連合会

## 後援

文部科学省/(公)日本PTA全国協議会  
栃木県/栃木県教育委員会/宇都宮市/宇都宮市教育委員会  
栃木県連合教育会/栃木県小学校長会/栃木県中学校長会  
栃木県高等学校PTA連合会  
(公)日本教育公務員弘済会栃木支部/(一)栃木県PTA教育振興会



## 大会シンボルマーク

デザインは、栃木県のシンボルであるトホノキの葉やヤブツバキ、イチゴを入れて栃木県を表現しました。真ん中の鳥のオウリは、スローガン「共に学ぼう」の「学」の字をイメージし、それを囲んでいるような形です。いつも私たちを見守ってくれている県や地域の力を借りました。この手紙、PTAの「共に学ぼう」という意味は、互いに支え合いを形にしました。

栃木県PTA連合会 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内  
TEL/028-622-2833 FAX/028-622-2834 E-mail/info@tochigi-pta.gr.jp

第52回 日本PTA関東ブロック研究大会

# とちぎ大会

令和2年 11/14(土)  
(2020年)

## とちぎ発 一期一会

～ともに学ぼう 輝く未来の子どもたちのために 教育は家庭から～

**大会初!** 記念講演も! 研究発表も!! “とちぎ大会”が見放題!!

### 動画配信決定!

配信 2020年11/14(土)～2021年2/13(土)まで

PTA活動の一助として、ぜひご覧ください。

PTA会員なら、どなたでも視聴できます。  
PTAの会費や前金などを払って、ご自身が欲しい書く字のヒントとして幅広くご利用ください。

**PTA会員限定配信** ID/パスワードは、配布される案内チラシをご確認いただくか、所属の各地方協議会、または栃木県PTA連合会までお問い合わせください。

**誰でもカンタン3ステップ!**

- 1 PC・スマートフォンなどからアクセス!  
アクセスURL - <https://pta.jp>
- 2 IDとパスワードを入力  
※視聴にはIDとパスワードが必要です。
- 3 “とちぎ大会”を視聴  
配信されるチラシをご覧ください。



# ②日本PTA関東ブロック研究大会

## 栃木県にゆかりのある豪華講師陣たちが 熱いメッセージを発信!

各地区の  
研究発表も  
同時開催!

### 記念講演 子育て対談

ロックンジャー・俳優  
ダイヤモンド章ユカイ氏

動画  
配信



1962年生まれ

1986年佐賀のロックバンドFRED WARRIORSのボーカルとしてメジャーデビュー。人気音楽家の1989年ワタシの活動でデビュー。日本武道館にライブ会場に開催。その後、ダイヤモンドユニオンとして、ソロ活動を展開する。現在は、音楽活動を中心に音楽家・俳優・パフォーマーとして活動するなど幅広く活動する。

俳優・トイ・ストーリーには、日本版主要キャラクター（ボク）を演じた。2016年12月には、映画「ディズニー・ファンタジー・ソングス」に出演。2018年ミュージカル「ミス・サイゴン」にエンジニア役で出演。昨年、2019年にはNHK紅白歌合戦に出演。現在、生活では47歳にして自身の男性不妊を克服するまでを語る。2017年には海外で不妊治療の成功と結婚の日々を綴った「タタシ」を発売し大きな反響を呼んだ。現在1名5男の父親。2019年「ベストファッショ」エピソード賞受賞。

### 第1分科会

## 地域

### 子どもたちを取り巻く地域力の向上

～人と人との信頼関係づくりが地域づくりへと～

地域との連携や協働を深めていくために、地域力向上に向けて考えていきます。「100人に負けるな」今、私たちにできること、地域で心をひとつに、メッセージとともに発信していきます。この困難な力を合わせて乗り越えよう。



【講演】  
宇都宮餃子店の歴史とこれから未来  
～オール宇都宮の魅力を発信～  
宇都宮餃子会理事長 鈴木 康弘 氏

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」

### 第2分科会

## 情報

### 広報活動、情報モラル・情報活用能力の育成

～ネット社会を生きる子どもたちとともに歩む～

(兼)文部科学省事業「ネットキャラバン隊」

インターネットや携帯電話の普及、情報技術の高度化に伴い、様々な問題が私たちに降りかかり、情報化社会、親子で情報に対してどの様な態度やモラルを持ち、果た活用していったら良いのか、もう一度考えていきたいと思います。



【講演】  
新しい生活様式で次の世代を育む  
～「アナログ感覚」と「デジタルツール」を  
柔軟にコラボしよう!～  
ネット教育アーティスト 尾花 紀子 氏

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAにおける広報活動の意義とは」～学校・地域・家庭の信頼関係を築くために～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAにおける広報活動の意義とは」～学校・地域・家庭の信頼関係を築くために～

### 第3分科会

## 安全

### 子どもたちの安全・安心

～安全、不登校・引きこもりとは～

子どもたちが不登校や引きこもりを過ごす理由は何なのか、不登校や引きこもりにならないのはなぜなのか、安心・安全という観点から子どもたちの心の「今」を見つめていきたいと思います。



【講演】安心・安全な学校・地域  
～不登校・引きこもりについて考える～  
一般社団法人  
栃木県安全安心支援機構代表理事  
中野 謙作 氏



【講演】今、疑って  
～不登校・引きこもりの経験から  
築いた絆～  
新潟県三条市PTA会長の経験から  
宗俊 貴恵 氏

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「地域で育つ・育むPTA活動」

### 第4分科会

## 家庭

### 教育は家庭から

～親から引き継ぐ言葉のちから～

子どもたちの言葉は、身の回りの言葉で変化します。日本語の強調や弱さなど正しく情報を伝える手法が「伝える力」を伸ばします。全国の小学校で行っている発声授業の事例を紹介しながら、今できることを考えます。



【講演】  
発声授業の現状と、子どもたちの「伝える力」  
～2020年教育改革を踏まえ、私たちができること～  
ことばアライズ発声療育共同代表 アナウンサー  
常世 晶子 氏 茂木 亜希子 氏

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～

### 第5分科会

## 健康

### 心身のセルフコントロールができる

子どもたちの育成 ～命の大切さを伝える～

「人生100年時代」と言われる今、また新型コロナウイルス感染症が世界で完全に収束しない限り、自らの心身の健康を管理し、命を大切に「伝える力」と考えられます。最新の「社会」の動きも踏まえながらヘルスケアについて共に学び、自他の生命を尊重しつづけて生きていくことを、子どもたちへ伝えていきたいと思います。



【講演】SDG(持続可能な開発目標)決定案  
SDG(持続可能な開発目標)決定案  
宇都宮市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～  
宇都宮市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAで大きな声で声を聞かせよう!」～保護者が作る保護者のための受容性～

### 第6分科会

## 組織

### 関東の子育てを笑顔に!

～組織・PTAの強みを生かした連携・協力～

新型コロナウイルス感染症や自然災害など予測できない未来に備え、家庭内において親子で人間力を高めるためのキーワード、抑制機能、その機能を向上させるため、組織・PTAの強みを生かしながら、楽しく学んでいきたいと思います。



【講演】家庭教育の抑制機能向上に  
役立つ歯ばせ学  
歯学部歯学部 歯学部  
ウチダ トモロ 氏

栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAにおける広報活動の意義とは」～学校・地域・家庭の信頼関係を築くために～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAにおける広報活動の意義とは」～学校・地域・家庭の信頼関係を築くために～  
栃木県栃木市立立花小学校PTA/令和元年度会長 山本 隆之/「PTAにおける広報活動の意義とは」～学校・地域・家庭の信頼関係を築くために～







# 3. まとめ



### 3. まとめ

## 1. 現状の課題を知ること！

我々大人は、子どもに害をもたらすこと、子どもを取り巻く社会環境、教育環境に関してもっと「知る」努力をしなければならない。

## 2. 責任と義務を認識すること！

我々大人は、子どもの行為・行動に対して「責任」を負うと共に、その行為・行動に対して子どもに教育する「義務」が生じることを認識しなければならない。

**PTAは、大人の学びを深めて参ります。**



公益社団法人 日本PTA全国協議会